

大分都市広域圏「新広域ビジョン」について（案）

1. 大分都市広域圏ビジョン

大分市、別府市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市、日出町の7市1町により形成される「大分都市広域圏」においては、圏域全体の経済成長のけん引や、高次都市機能の集積強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図るための具体的な推進計画として、「大分都市広域圏ビジョン」を策定し、本計画を基に令和元年度末までに47の事業を実施してきたところである。

本ビジョンの取組期間は平成28年4月から令和3年3月までの5年間であり、令和2年度はビジョンの最終年度となることから、新たな期間に向けて計画の策定を行うもの。

2. 公募型プロポーザルによる事業者の選定

事業者の選定にあたっては、価格のみの判断ではなく、企画力及び業務実績等を総合的に評価したうえで、本業務の目的を達成し得る最も適した事業者を公平かつ適正に選定するため公募型プロポーザルによる方法とした。

大分都市広域圏ビジョン策定業務受託候補者選定委員会

	所属	氏名	備考
1	大分高等教育協議会 地域連携研究コンソーシアム大分	守山 正胤	大分都市広域圏ビジョン会議 委員長
2	公益社団法人 大分県産業創造機構	神 昭雄	大分都市広域圏ビジョン会議 副委員長
3	大分市 (企画課長)	小野 晃正	委員長
4	別府市 (総合政策課長)	柏木 正義	
5	臼杵市 (秘書・総合政策課長)	平山 博造	

4者からの応募を頂く中で6月3日に上記委員による選定委員会を行った結果、総合計画や総合戦略・人口ビジョンの策定支援など全国に数多くの実績があり、基礎調査の手法や現行ビジョンの総括を踏まえた新しいビジョンの策定方針等が評価され、**有限責任監査法人トーマツ福岡事務所を事業者として決定した。**

3. 有限責任監査法人トーマツ福岡事務所の主な実績について

	業務内容
1	第3次埼玉県川越都市圏まちづくり基本構想・基本計画策定支援業務委託（川越市）
2	別府市総合計画・総合戦略策定支援業務（別府市）
3	第2次臼杵市総合計画後期基本計画等策定業務委託（臼杵市）

4. ビジョン策定方針

- ◎外部有識者で構成される「大分都市広域圏ビジョン会議」や7市1町の首長で構成される「大分都市広域圏推進会議」で出された意見を踏まえ、圏域経済、観光資源等の強み・弱みの分析を行い、現行ビジョンでの事業実績や成果を総括した上で大分都市広域圏の特性をより生かすことができる効果的な事業を厳選する。
- ◎第32次地方制度調査会の審議内容等、国において議論されている広域化政策の内容を踏まえたものとする。
- ◎圏域の住民や企業、大学等にアンケート調査を実施し、意見を踏まえた事業を検討する。
- ◎別に策定している「大分都市広域圏経済戦略」についても、今回「大分都市広域圏ビジョン」と併せて作成し、一冊にまとめる。
- ◎重要業績評価指標（KPI）については、広域連携で取り組む事業の成果が客観的にわかりやすい指標となるよう指標の見直しを行う。

新ビジョンの構成案

第1章 はじめに

1. 大分都市広域圏ビジョン策定の趣旨
2. 連携中枢都市圏の名称及び構成市町
3. 連携中枢都市圏及び連携市町の概要
4. 取組の期間
5. 推進及び検証体制

第2章 圏域を取り巻く社会経済状況

1. 我が国の人口・財政
2. 持続可能な社会づくり
3. 経済・社会・環境動向

第3章 圏域の将来像

1. 大分都市広域圏の課題
※5年間の成果を総括
2. 圏域の将来像
3. 圏域の目指す方向性

第4章 将来像の実現に向けた取組 関係資料

1. 圏域の現状
2. 本ビジョンの策定にあたって
・大分都市広域圏推進会議規約
・体制名簿

5. 今後について

- ◎11月中旬に開催予定の「大分都市広域圏ビジョン会議」や、11月下旬開催予定の「大分都市広域圏推進会議」で素案を示し、頂いた意見の内容を踏まえ令和3年3月までに新ビジョンを策定する。